

第106回 維持管理研究会 議事録

1. 開催日時 : 2020年 5月21日(木) 15:30~17:30
2. 場 所 : Zoomリモート開催
3. 出席者(敬称略) 12名
井上、大塚、金子(幸)、木村、久保、古村、清水、守護、菅谷、高橋、福島、中谷(記)
4. 研究テーマ
Covid-19 蔓延期に対する各社の対応状況、及び With コロナに対する今後の対応や課題などについて情報交換を実施した。

(1) 各社の現状

●テレワーク勤務(本社部門)

デスクワーク業務部門の方々は、殆どの会社がテレワーク中であり、今回の研究会も自宅から参加された方々であった。(営業やコンサル、システム開発、及び管理部門)

ただし管理部門は、緊急対応のために交代で出勤している会社もあり、会議室の活用や間引きしながら密にならないように勤務している。

●スピリット勤務など(製造部門)

地方にある製造工場やコールセンタなどは、各社とも通常稼働中であった。

ただし注文減少や原材料の入庫遅延などもあり、週休3日制やシフト勤務などにより、さまざまな3密を避ける工夫により、業務を継続している。

●通常勤務(輸送関連)

輸送業務は、社会機能の維持事業者であるため、全員が通常出勤している。

輸出・輸入とも、昨年と比較して大幅に減少していたが、最近は持ち直し傾向になってきている。なお毎朝の検温と共に体調確認を徹底し、3密状態にならないように労働環境を意識しながら勤務させている。(感染者は発生していない)

●通勤手段

地方工場は、公共交通機関の利用を原則禁止しており、自家用車・自転車などの利用による通勤により、感染防止の徹底を図っている。(2社)

(2) 今後の課題

緊急事態が解除後に、どのような勤務形態にするのがベストなのか・・・

暫らくテレワーク継続? 出社とテレワークを両立? フレックス勤務の活用? 通常勤務へ戻す?

営業や保守サービス、及びコンサル系等の業種で顧客との会話が中心の職種は、数字達成目標もあることから、商談開拓等についての手法で大変悩んでいる。(次回へ継続とする)

※次回開催予定

6月18日(木) 15:30~17:30 Zoom 開催

以上

【参考資料】

業務見直しとセキュリティ・チェックリスト

1. 停止したシステムの再稼働における注意事項

<input type="checkbox"/>	期間停止していたシステムの動作確認を行う
<input type="checkbox"/>	長期間停止していたシステム構成機器のセキュリティ対策の最新化を行う (OS・ソフトウェアの最新化、アンチウイルスソフト定義ファイルの最新化等)

2. テレワークで社外に持ち出した機器を社内 NW に接続する際の注意事項

<input type="checkbox"/>	持ち出した機器(端末や外部記憶媒体等)が紛失していないか棚卸し確認する
<input type="checkbox"/>	端末のセキュリティ対策が最新化されているか確認する (OS・ソフトウェアの最新化、アンチウイルスソフト定義ファイルの最新化等)
<input type="checkbox"/>	持ち出した機器(端末や外部記憶媒体等)がマルウェアに感染していないか確認する
<input type="checkbox"/>	無許可のソフトウェアがインストールされていないか確認する
<input type="checkbox"/>	テレワーク期間中に、社内システムに不正アクセスされていないかログ等を確認する
<input type="checkbox"/>	社内 NW に接続した端末から不審な通信が行われていないか監視を一定期間強化する

3. 緊急措置としてテレワークを許可した業務やルールを変更した業務の扱い

<input type="checkbox"/>	緊急措置として許可した私物端末利用(BYOD)の利用実態について確認する(私物端末のセキュリティ対策やマルウェア感染の有無、私物端末に保存されていた業務関連資料の削除確認等)
<input type="checkbox"/>	緊急措置としてテレワークを許可していた業務やルールを変更した業務のリスクを再評価する
<input type="checkbox"/>	再評価により、リスクが許容できると判断された業務については、引続きテレワークを継続すべく、必要に応じてセキュリティポリシー等の改訂を行うことを検討する
<input type="checkbox"/>	再評価により、リスクが高いと判断された業務については、一旦元の運用に戻し、テレワークができる手段を検討したうえで、テレワークの可否を判断する

4. With コロナフェーズに向けた、業務見直しとセキュリティ対策

<input type="checkbox"/>	第二波など緊急事態宣言の再要請に備え、業務移行の手順、必要なサービスを整理する
<input type="checkbox"/>	テレワークにより負荷が集中した従業員や業務の洗い出しと対応の見直しを行う
<input type="checkbox"/>	テレワークにより負荷が集中したサービスの洗い出しと対応の見直しを行う
<input type="checkbox"/>	テレワークにより業務効率が下がった業務の洗い出しと対応の見直しを行う
<input type="checkbox"/>	テレワークにできなかった業務の洗い出しと今後の対応について検討する
<input type="checkbox"/>	脱押印のためのオンラインワークフローや電子署名サービスの導入について検討する
<input type="checkbox"/>	社内業務だけでなく、顧客や外部委託先との契約上、テレワーク化することができない業務やサービスについて、テレワークができる手段を検討し、顧客や外部委託先と協議の上、必要に応じて契約条件の見直しを検討する
<input type="checkbox"/>	今までの IT 投資やセキュリティ対策の優先順位を見直し、テレワークを前提とした社内 IT 投資やセキュリティ対策について検討する
<input type="checkbox"/>	テレワークを前提としたシステム構成管理やログ設定の見直しを行う
<input type="checkbox"/>	クラウドサービスや社内外で安全かつシームレスに業務を実施するためのゼロトラストネットワークの導入を推進する
<input type="checkbox"/>	テレワークを前提としたセキュリティインシデント発生時の体制や対応について再検討を行うと共に、そのための教育や訓練を行う
<input type="checkbox"/>	これを機会に、リスクの再評価を行い、セキュリティポリシーにおいて形骸化した項目を見直すと共に、社員等への周知やセキュリティリテラシーの向上を行う

